

学校だより



井波っ子

令和5年12月22日

南砺市立井波小学校

12月号 第351号

井波小学校HPアドレス
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)

多様な学びの場

校長 中町 寿子

先日、ある保護者の方から、通級指導教室とはどんなところですかと尋ねられました。私たちには、体のことや心のこと等、どの人も同じではなく、得意不得意や長所・短所といったようにその人らしさを表すもち味があります。子供たちは、誰もがもっているもち味を大切にしながら、自立し、社会で共に生きていく力を身に付ける必要があります。

そのもち味を大切にしておよばしていくために、本校には、通常の学級と特別支援学級があります。特別支援学級には、ハ乙女学級とさくら学級、そしてかがやき学級があります。少人数であるため、個に応じて、学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立するためのサポートを行っています。

通常の学級においても、一人一人の教育的ニーズに応じた個別の配慮を行うことが求められており、学校では、子供の自立と社会参加を見据えた「多様な学びの場」を用意しています。その一つが、「通級指導教室」です。本校では、「あすなる教室」と呼んでいます。通常の学級に在籍しながら、週に数時間程度、子供が抱える困難さに応じた特別な指導を行います。

右図が、1時間のメニュー例です。始めに子供と1時間の活動の流れを確認して、見通しをもてるようにし、子供の様子に合わせて進めます。この時間は、自分の気持ちの伝え方、友達との関係づくり、状況に応じた適切な行動の仕方等、自立活動を組み合わせて行います。

子供たちが安心してもち味を発揮し、よさを伸ばしていくことのできる学校でありたいと考えています。多様な学びの場の整備はその中核をなすものと考えており、今後とも少しずつですが多様な学びの場が充実するように努めてまいります。

- 目当てを決めよう
- 1 集中トレーニング（脳を働かせて）
- 2 ソーシャルスキルトレーニング
（こんな時、どうすればいいの？）
- 3 読む・書く・話す・計算
（学年の学習を踏まえて）
- 4 運動・ゲーム
- 振り返りをしよう



昔と変わらないこと

美化・ボランティア委員会担当 山本 南穂

今年度、美化・ボランティア委員会の担当となり、自分が小学生だった時のことを思い出しました。私自身も小学生時代にボランティア委員会に所属しており、アルミ缶回収の呼び掛けをしていました。本校の美化・ボランティア委員会の活動の一つにアルミ缶回収の活動があり、その収益で楽寿荘へ贈り物を準備しています。昔も今もある活動として、意味があるのではないかと思います。毎回袋一杯に持ってきてくれる子供や兄弟で分け合っている子供、「ありがとうございます。」と感謝の言葉を伝えて受け取る委員会の子供たちの姿を見て、「アルミ缶回収」を通じての心と心のつながりを感じます。学級の子供たちにアルミ缶回収の話をしたときに、「アルミ缶を集めたらどうなるの？」と考える子供や「楽寿荘のおじいちゃんやおばあちゃんが喜んでくれるといいな。」と語る子供の姿を見て、アルミ缶回収をきっかけに活動に興味をもち始めている様子や地域の人への思いやりの心を育てている姿が見られました。

このようなつながりや思いやりの心は、昔から変わらず大切にされてきたことでしょう。これからもつながりや思いやりの心を大切に、ボランティア活動だけでなくいろいろな活動に取り組んでほしいと思います。



〈アルミ缶回収の様子〉